

2018|3|27. OPEN

柳原良平
アートミュージアム



横浜みなと博物館

ア

ンクルトリスの広告デザインや船の絵で知られる柳原良平の常設展示室「柳原良平アートミュージアム」が、二〇一八(平成三十)年三月二十七日(火)に横浜みなと博物館内にオープンします。

これは、二〇一六(平成二十八)年四月、ご遺族から横浜市に寄贈されたイラストレーションや油彩画などの作品を、「市民をはじめ多くの人に作品を見て親しんでほしい」というご遺族の想いを踏まえて、常設展示することにしたものです。柳原良平が、毎日、船を見ていたい、横浜の山手に居を構えたのは一九六四(昭和三十九)年。以来、横浜港は柳原の母港になり、愛してやまない港になり、ここで、あるいはここから世界の港と船を巡り、多くの作品を制作し、執筆しました。アートミュージアムでは、柳原良平の名を広く知らしめることになったアンクルトリスのイラストレーション・デザイン、その後の幅広いグラフィックデザイン、アニメーション、絵本、装丁、漫画、そして油彩画やリトグラフなどを紹介します。柳原良平アートミュージアムは、日本で唯一の柳原良平の常設展示施設です。柳原良平の多彩で多様な世界をお楽しみください。

柳原良平アートミュージアム

● 開館時間：10時～17時 ● 休館日：月曜日〔祝日にあたる場合は開館し、翌日休館〕 | 年末 | その他臨時休館日
 ● 入館料(常設展示室と共通券)：一般 400円(350円) | 65歳以上 250円(200円) | 小・中・高校生 200円(150円)

※横浜みなと博物館常設展示室も見学できます。※()は団体割引[20名以上] ※帆船日本丸との共通券があります。詳細はHPでご確認下さい。

※毎週土曜日は小・中・高校生は100円の特別料金になります。※企画展等は別料金になる場合があります。



1

- 1 開港初期の横浜港風景 [1967年 | インク、様々な紙]
- 2 アンクルトリスと柳原良平 [1970年代 | インク、様々な紙]
- 3 横浜港(QE2と富士) [1988年 | リトグラフ]
- 4 ポスター YOKOHAMA [1981年]
- 5 ポスター トリスを飲んでHawaiiへ行こう! [1961年 | シルクスクリーン]
- 6 タンカー [2003年 | 油彩・キャンバス]
- 7 アンクルトリスの楊枝入れ [1970年代]



3



4



2



5



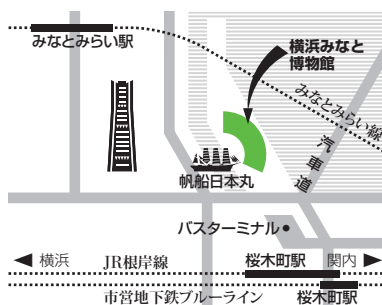
6



7

柳原良平アートミュージアムグッズ

横浜みなと博物館ミュージアムショップに柳原良平グッズコーナーを新設します。リトグラフをはじめ、柳原作品を題材にしたオリジナルフレーム切手セットやポストカード、モバイルクリーナー、マグカップなど、魅力的なグッズがいっぱいです。



JR根岸線「桜木町駅」下車 徒歩5分
 市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」下車 徒歩5分
 みなとみらい線「みなとみらい駅」下車 徒歩5分



横浜みなと博物館

220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1
 帆船日本丸記念財団・JTBCコミュニケーションデザイン共同事業体
 Tel.045-221-0280 | Fax.045-221-0277
<http://www.nippon-maru.or.jp/>